

第2回 旧公立藤岡総合病院利活用検討委員会会議 議事要旨

日時	令和元年7月5日(金) 13:30~15:30
場所	藤岡市役所 防災センター2階 大会議室
出席者	委員 9名(6名欠席) オブザーバー 3名(全員出席)

1. 開会

2. 委員長あいさつ

- ・第1回会議では、事務局から旧公立藤岡総合病院(以下、「旧病院」という。)の現状に関する説明があり、その後に現地視察を行った。その感想としては、建物の老朽化が目立つという意見が多かった。
- ・今回から本格的な議論が始まるが、市民生活の質の向上や市の発展に繋がることであるため、積極的な発言と協力をお願いしたい。

3. 議事

(1) 事務局報告

① 第1回会議の振り返り

- ・事務局より、令和元年5月28日(火)に開催した第1回会議の概要(本委員会の今後の予定、旧病院の現状等、旧病院現地視察後の主な感想)について説明。

② 市民からの提案や意見について

- ・事務局より、「市長への手紙」によって市民から寄せられた旧病院に関する意見を報告。

《1件目》高齢者と児童の交流が生まれると思われるため、老人施設と学童保育で使ってほしい。

《2件目》介護人材の宿舎と研修所にする。市の3偉人にちなんだ研修所と宿泊所にする。

《3件目》保育園にする。外国人向けの安い宿泊施設にする。

- ・事務局より、市民団体から提出された要望事項について報告。

《要望1》本委員会の会議を傍聴可能にしてほしい。

《要望2》当該団体が独自で行ったアンケートの結果を、本委員会の論議に反映してほしい。

●独自アンケートの概要

調査実施日	平成28年10月15日(土)
実施方法	旧病院周辺の住民宅を訪問し、聞き取り形式で調査。

回答者数	85件（訪問件数は203件）
アンケート結果	<p>【問】旧病院跡地についてどのように利用すべきだと思いますか</p> <p>【回答】①高齢者の福祉施設 ②児童・青少年施設 ③民間に売却 ④公園などの市民の憩いの場 ⑤商業施設</p> <p>【その他の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生活に役立つような施設にしてほしい ・道を広げてほしい ・高齢者と子供と一緒に使える施設 ・避難場所や多世代で使えるコミュニティ・リハビリ施設 ・住宅地にして若い人に地域に入ってほしい ・商業施設はゴミや交通などが問題となる ・旧病院の跡地利用は多くの人の関心があり、廃墟のまま放置するのはよくない など

- ・市民団体からの要望1「本委員会の会議を傍聴可能にしてほしい。」に対し、委員長が本委員会の会議を公開することについて委員の賛否を伺ったところ、出席委員の総意により「委員会の会議は非公開とする」ことが採決された。
- ・委員より「旧病院の件に関しては、市民の声を聞くことも大事だと思われるため、市民の意見を聞く会を開催しても良いと思う。」と提案される。
これに対し、委員長が本委員会で市民の意見を聞く会を開催することについて委員の賛否を伺ったところ、出席委員の賛成多数により「市民の意見を聞く会を開催する」ことが採決された。

（2）討議

議題① 藤岡市の現状及び課題等について

議題② 望ましい藤岡市の将来像や中心市街地の姿・あり方等について

【委員・オブザーバーの意見の概要】

- ・仕事柄、社交会場として他市の施設を訪れることが多いが、他市には立派な建物が多く、待合室や講演会・懇親会の会場が整っている。しかし、藤岡にはそのような場が無いとため、集会や講演会などが行える施設があると良い。なぜ、ハード整備が劣っているかを考えてみると、経済力が弱いからだと思われる。市外で買い物などをする傾向があり、市内にお金が落ちにくいと感じている。
- ・上記と同意見。市有施設の中には利用回数に制限があるものもあり、会合の開催会場が市外となったケースもある。そのため、市内にコンベンション施設があれば良いと感じる。
- ・藤岡市の子供の学力が他市と比べて低いという話を聞いたことがある。そのため、学力向上を目的として、常設の学習専用室があれば良いと思う。市立図書館にも

学習できる机はあるが、集中しづらい環境だと感じている。夏休みには総合学習センターなどが学習用に開放されているが、テスト期間などにも利用できるような常設が望ましい。

- ・現在の市立図書館は来館者が多いこともあって手狭であり、また、駐車場も狭くて入りづらいということもあるため、もっと街中に出しても良いと思う。それにより、文化の藤岡市をアピールすることも考えられる。
- ・市の総合計画では、市街地整備について「にぎわいと活気のある中心市街地を形成し、人に優しく住みやすい、魅力的なまちづくりを進めます。」と書いてある。市の中心市街地にある中央通りは、人通りも少なくてもにぎわいが無いと感じている。旧病院は中央通りに近いので、市街地ににぎわいや活気を取り戻せるように多様な市民が交流できる施設などで活用ができれば良いと考える。また、少子化対策と絡めて活性化を促すような活用策も考えられる。
- ・中心市街地活性化の議論では、よく「人が歩くことでにぎわいが生まれる」と言われるが、今の人はほとんど歩かない。車で来て、車で帰る人が大多数である。特に高齢者は、徒歩で移動できる距離が短くなっていくため、歩いてにぎわうことは難しいという現実的な側面もある。
- ・本来であれば、民間事業者に商業・娯楽施設などで活用してもらう方が良いと思うが、この街の中で成り立つかという資金面からも疑問がある。その他の活用のキーワードを考えると、防災、福祉、子育てといった項目が考えられる。資金面から考察すると、国や県の補助金制度などと合致させつつ、この地域に役立つ仕組みが構築できれば良いのでは、と考える。
- ・今後は更なる高齢化社会を迎えるため、多くの高齢者が楽しめ、体力増強ができるような活動拠点となる活用が望ましい。
- ・市内には、近隣市町村から人が訪れたいと思えるような公園や遊園地が無い。そのため、市民全員が楽しめる一大公園とする案も考えられる。中心市街地であるため、イベントによる集客があれば商店街も賑やかになる。また、将来の子供たちのためにも必要だと思われる。
- ・市立図書館と会遊亭を移転して、市民の集いと融和の場とする提案が所属団体の関係者からあった。施設にはサロンやギャラリーを併設し、展示会などのイベントに活用すれば、市内に人を呼び込める。
- ・旧病院の建物は、老朽化等の問題があるため解体して、市役所の新庁舎を建ててはどうか。現在の市庁舎はエレベーターが無く、2~3階に上がりづらい。また、複数の棟があり、分かりづらい構造となっているという問題がある。庁舎と併せて地場産の野菜を売ったり、材料として使っている店が併設できれば、市民が利用しやすいと思われる。
- ・旧病院の跡地活用を考える前提として、市の総合計画や立地適正化計画などといった上位計画との整合を図り、実行性を担保していくこともまちづくりには重要である。また、中核となるものを何にするかがポイントとなり、次の世代の人た

ちに「有って良かった」と思われる施設を残していく必要がある。その実現のために費用と財源の問題や、官民連携なども考えていかなければならない。

現在の藤岡市の人口は約6万5千人だが、20年後には5万1千人くらいになる見込みである。他市の例だが、病院跡地を活用して都会から元気な高齢者を呼び込むCCRC構想というものがあるため、藤岡市でもCCRCの施設整備を行うという案も考えられる。

また、この旧病院関係の土地は、駐車場などが分散している状況であるため、同一の用途ではなく、それぞれの土地を別々の用途で活用することも考えられる。

- これまでの意見を聞いていると、複合施設が中心になるように感じている。その中に、意見があった教育や文化、コンベンションなどという要素を取り入れることも考えられる。ただし、コンベンションについては、大規模なものでなければみかぼみらい館で十分だと思う。また、福祉の要素については、今の市内の状況を見ると困っている人が施設に入れない、というほどではないと感じている。その他、人口減少という話もあったが、都市部などの便利なところでは人口が増えている状況もある。これについて、総合計画の一要素としてコンパクトシティという考えもあり、人が集まることで瞬間的に人口が増える事でも良いと思うが、藤岡市の20年後、30年後を見据えて、必要なものを検討していかなければならないと考えている。
- 小さいからまとまっている、ということもあると思われる。そう考えると、例えば庁舎やコンベンション、図書館などの意見があったが、それらを点在させるのではなく、まとめるという考えも良いのかもしれない。
- 藤岡市民が市外で活動しているという話を聞くことがある。その外に出てしまっている力を内側に向けられれば、市はもっと向上できると思う。
- 広域的観点から言えば、現状では近隣市町村との補完を考えないと大きな施設整備は難しいと思われる。そうでなければ、意見のあった複合施設のように、主に市民の利用に限定した施設という方向性になると思われる。大きなコンベンション施設は、来年に高崎市にできるので、やるとすれば小さなコンベンション施設しかできない。市の中心なので、他との連携もできれば良いと感じている。
- 他市の例だが、中心市街地で廃業した総合スーパーの施設を購入して公共施設として活用している事例がある。上層階は民間施設だが、中層階までは公民館やホール、こども図書館や遊戯施設などの公共施設となっている。

この施設は、当初は1日平均で約3,000人の利用者がいた。街中にこのような施設ができて、経済効果があるか調べたところ、利用者のほとんどが併設された駐車場に車を停めて、用事が済んだらまた車で帰るといった状況であり、ほとんどの人は街中へ出ていなかった。しかし、その後に街の人が店舗の割引をするなどの対策を講じるようになり、少しずつ影響が出るようになっていった。

このように集客性のある施設が少しずつ街に影響を与え、街の形や人の流れを作り、周りの人やお店を動かしていくこともある。そのため、この旧病院跡の活用

方法についても、なるべく人が集まる施設にした方が良いと思う。意見のあった市役所の機能だけでは、集まる人は限られると思われる。

4. その他

事務局より、次回の会議を8月下旬に開催したい旨を説明し、次回会議の予定議事について、各委員及びオブザーバーの所属団体内で意見収集と整理を行うよう依頼した。

5. 閉会